

MODE MASTER SCHOOL

機種配置・動線

～機種配置のポイント～

○機種配置のポイント

【question】

自店のパチンコ・パチスロの配置を考える際に考慮するポイントは？

【メイン機種・新台】

【バラエティコーナー】

【その他機種・低貸しコーナーなど】

○動線の確認

☆店内動線確認

・一般的な動線の考え方 ～コンビニに学ぶ動線イメージ～

なぜコンビニは、どこも似たような造りなのか？

→店内を自然と一周できるような商品の陳列、配置を行っているから。

例1) お昼の時間の動線

入口→弁当・おにぎり→ドリンク→サラダ→デザート→雑誌・雑貨→レジへ

逆のパターンもあり 入口→雑誌・雑貨→・・・

一連の流れの中で、店内を一周してしまう配置

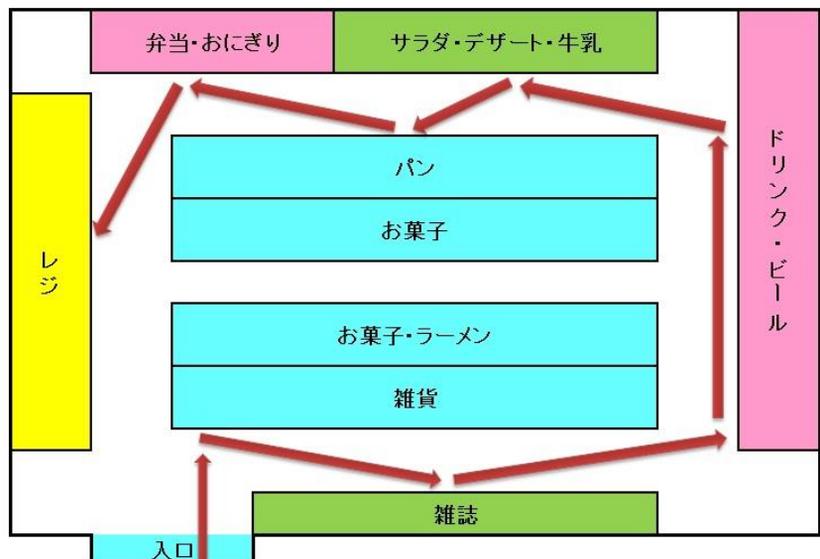
例2) 通常時の動線

一番、需要の高いドリンク・弁当類を店内の一番奥に設置。

ドリンクコーナーに行く間、レジに行く間に様々な商品を見る事になり、予定になかった商品を手にするチャンス・可能性を作り出している。

【point1】

パチスロもコンビニ同様に、まずは店内を1周してもらえそうな配置を心がける事で、全体の遊技機（商品）・遊技環境を確認してもらう。更に第2・第3の遊技候補機種をイメージしてもらう。また店内を一周することで、予定外の機種を見つけて遊技する可能性も出てくる。遊技を希望していた遊技機が満台の場合に、第2・第3候補の機種を決めておければ繋ぎとして遊ぶ可能性も高い。



○機種配置の考え方（1）

☆機種配置の考え方

1.花形（メイン・新台）機種の導入位置は？（二極化する考え方）

目立つ場所なのか？ 敢えて奥に設置して、引っ張ってくるのか？

どちらの方が良いと言う事はないが、概ね目立つ場所（入口付近など）に設置しているホールが多く、稼働している状況をアピールしている。しかし、**昨今の新台は寿命が短く、アピールできる期間は非常に短いため、早い段階で空台が目立ち始めることも多く、敢えて新台を奥に設置して、入口付近にはその店のメイン機種を配置し、来店客を奥まで誘導する動線が比較的有効であるとされている。**

但し、奥に新台を設置する場合、花形であるメイン機種の稼働が良くなければ、入店直後の第一印象で稼働が良い・期待できる、と言うイメージは付きにくい。**店舗全体の平均稼働が比較的高いホールでは奥に新台を設置するパターンは有効な手段である。**

どのパターンで設置するにも自店の実績、ユーザーの好みに合わせた配置が最良である。

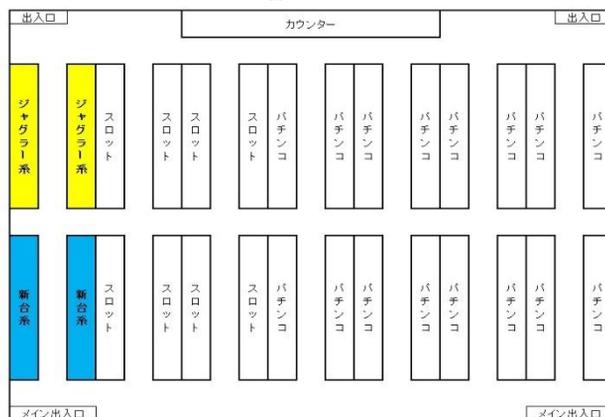
2.Aタイプの理想的な配置は？（設置後の移動は極力しない）

入替が行われても基本的に移動しない場所を選んで配置する事が重要である。特に中高年層が多く遊技する**ジャグラーシリーズなどは配置を固定し、撤去するまで動かさない前提で設置場所を吟味する。**いつ行っても同じ場所、同じ台を打つ傾向が強い中高年層は、変化を嫌う傾向もある。入店してから台に座るまで、毎日同じ経路をたどっている事も多い為、配置についても可能な限り固定しておきたい。

過去の傾向から見ると、店舗の入り口付近の壁島又は、店内奥の壁島が中高年層に好まれる傾向が強いため、中高年層のユーザーが居心地よく感じられる場所やコーナーを吟味して配置を決定すると良い。

スタッフの目が届く位置に配置するということも特に中高年の常連客をもてなす意味でも、必要な配慮と言える。

配置例



駐車場

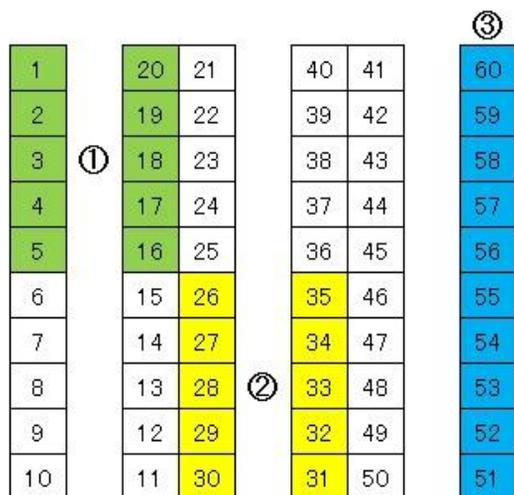
○機種配置の考え方（2）

☆機種配置の考え方

3.多台数機種の配置は？（直線よりボックス）

昔からよく言われるのが、多台数導入の島に一直線で配置する場合と半分の台数でボックスの形で設置するのはどちらの方が稼働は良いか？という事。結論から言えば、**ボックスで設置した方が稼働を維持しやすい傾向がある**。ユーザー側の思考を考えても、近くの台を常にチェックしたいと言う欲求がある。前後左右なるべく自分の台に近い位置に同一の機種・打ちたいタイプの機種が配置されている方が、より多くの台をチェック出来るようになる。プレミアを引いた瞬間や高設定挙動、ハイエナなど、チェックしたい理由は様々。できるだけ多くの台を見ておきたいと言うのがユーザーの心理。新台であれば尚更。新台に関しては、導入初週はフル稼働する前提だが、直線島のボックスで片側だけ満台で、もう片方の客付きはパラパラの状況では、ユーザーに与える印象は良くない。コース内の賑わい感を出すのなら、半分の列にはなるがボックスになる配置の方が高稼働をしやすい実績・傾向がある。ユーザーの目線や心理、立ち回りを重視した配置を考えてゆきたい。

メイン出入口側



- ①メイン出入口側からボックスで新台を配置。
入ってすぐにコース両サイドが埋まっている状況が見られ、賑わい感を出しやすい。奥は稼働しづらいが、見た目の印象は良い事が多い。カド台も座りやすい。
- ②新台を奥のボックスに配置。奥側に動線を持って行く事で、店内・コース内を回遊しやすくする。来店時の瞬間的な賑わい感は出にくいですが、ボックスに配置する事で少台数他機種構成が成立しやすくなる。
- ③新台を直線で列配置。初日から数日間は客付きもよくなり、ずらっと並んで壮観であるが、対面側の島との比較で閑散としたイメージが付きやすくなってしまふ。移動も少なく、入替もほとんどないジャグラーなどの機種ならこの配置でも十分効果はある。

○機種配置の考え方（3）

☆機種配置の考え方

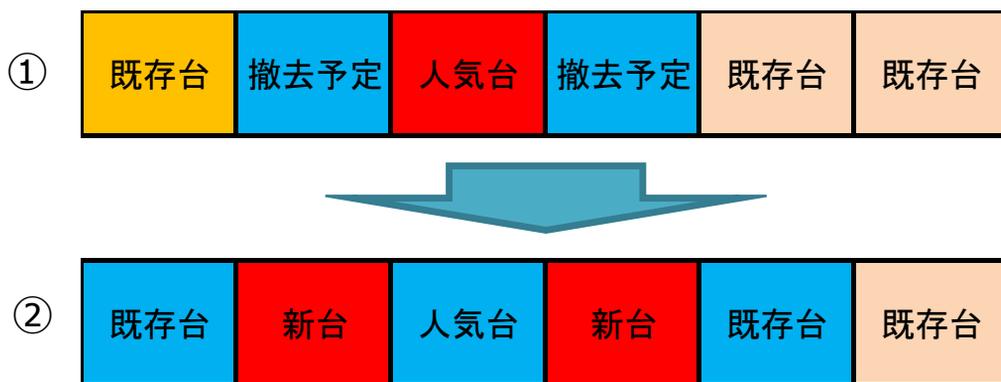
4.バラエティの理想的な配置は？（高稼働台・機種を隣り合わせにしてはならない！）

その昔（20年ほど前まで）はほとんど無かった1台ずつのバラエティコーナーだったが、今ではほとんどのホールで設置していると言ってもよいくらい浸透している。ユーザーも当たり前のように打っているバラエティコーナーだが、この1台ずつの配置であっても慎重に精査しなければ稼働に影響が出てしまう。

バラエティコーナーが好きなユーザーは、基本的に好きな機種が設置してあるから、色々な機種が打ちたいから、と言った理由が多い。そして一人でじっくりと誰にも邪魔されないで遊んでいたいという心理もある。

良くあるケースで、**人気台や新台など常時高稼働している台の隣に更に人気台や新台を設置してしまうと、元々設置してあった人気台の稼働が低下してしまう傾向がある。**この傾向を踏まえ、**人気台の隣には比較的稼働の低い台、撤去予定台、マニアな固定ファンが多い台など、特定の条件が当てはまる台を設置すると良い。**

バラエティコーナーの比率が非常に高い5号機時代においては、バラエティの配置が店舗全体の稼働にも影響が出るくらい重要なコーナーであり、配置にも細心の注意が必要。



①の配置状態から移動もせず、撤去予定機種のところへ②のようにそのまま新台を配置してしまうと、元々人気台であったにも関わらず新台に挟まれ、稼働が低下してしまうケースが多い。同時に既存のカド台や新台の隣の台など、全体的な稼働低下の恐れが考えられる。こういった場合も踏まえ、バラエティの配置には細心の注意を払い、移動をこまめに行うと同時に、移動先の場所が分かりやすくなるような案内をする必要がある。

○機種配置の見方 (1)

☆機種配置の見方

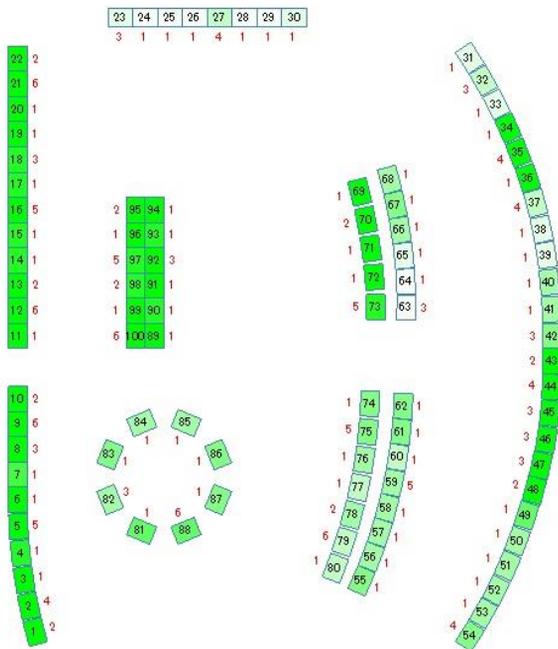
○上から見てみよう！

→ 島を上から見た目線で、稼働と出玉を色分けしてイメージする

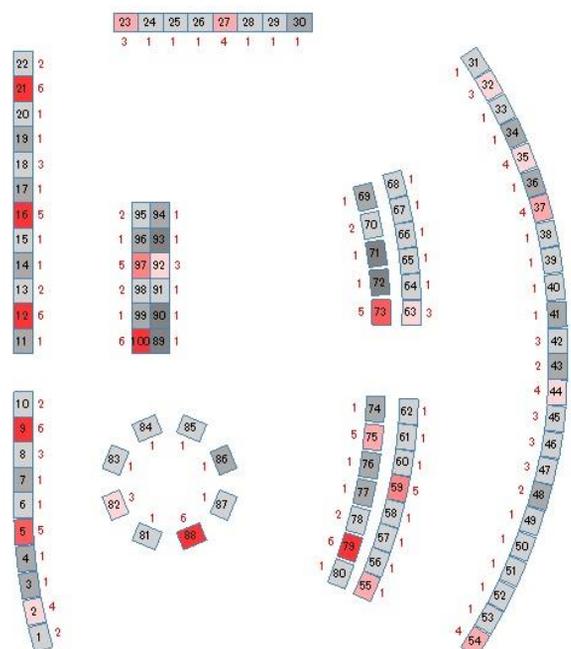
ほとんどのホールでは、島を上から見た形での配置図を作成しているため、まずはこの配置図をベースに機種別・個台別に稼働や出玉率などで色分けをする。

色分けをしてみる事で、視覚的に稼働している島や配置、出玉感の強い台や場所など、イメージ的なものを掴みやすくなる。更にこの配置図に使用している設定なども記入すると、より一層リアルな出玉感や稼働状況がイメージしやすくなり、設定調整でもより細やかな配慮が出来るようになる。

「台別の稼働実績で色分け」



「使用設定による出玉イメージで色分け」



※メイドインサービスオリジナル設定シミュレーションソフトより

[point]

配置図から出玉や稼働のイメージを掴む事でバランスのとれた出玉感を演出しやすくなる。

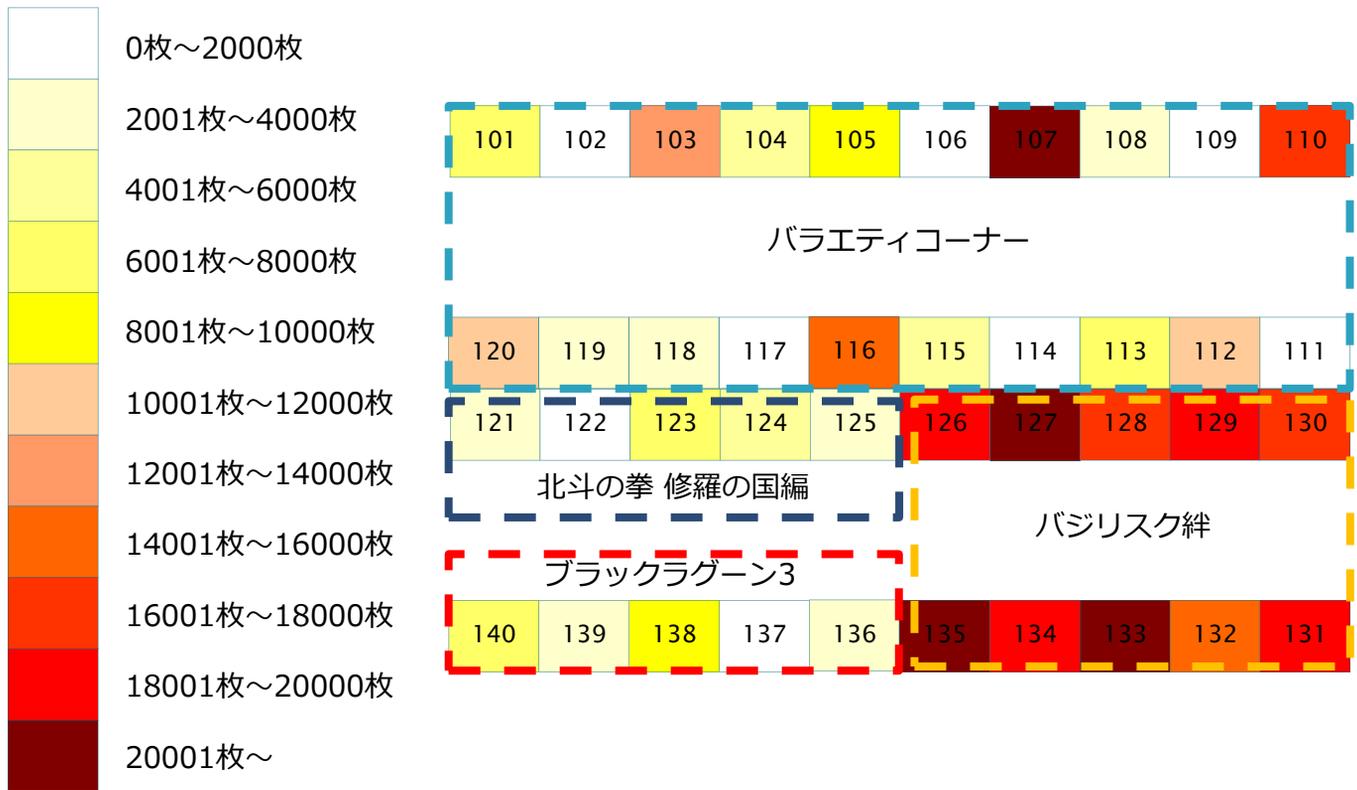
また、目立つ場所や動線上の重要なポイントに重点的に設定を配置する事で、より出玉のアピールをする事ができるようになり、来店客へ出玉感のある良い印象を与えやすくなる。

○機種配置の見方 (2)

☆機種配置の見方

- 稼働実績で色分け ⇒ 1,000枚単位で色分けをしていく
年間、月間、週間など、期間ごとの稼働実績を基に色分けを試みる

〉色分け例 ※エクセルを使う事で簡単に色分けが出来る



【point】

稼働の強弱を色合いのイメージでとらえることで、設定調整・機種配置・出玉感の偏りや来店客が持つであろう出玉・稼働イメージが視覚的に理解しやすくなる。来店客の持つ自店への印象を理解できてくると、より設定調整や機種配置に気を遣うようになり、バランスの良い機種構成や配置が可能になっていく。

○機種配置の見方（3）

○横から見てみよう！

コース入口、コース内に立った時の見え方をイメージする。

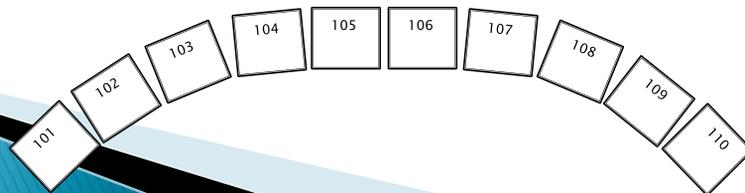
・島の形状別パターン

直線島

直線島が基本のホールの場合、角台・角2と呼ばれる端の台の稼働率が高い傾向がある。また、大きな出玉が出ている時も目立つ場所であり、出玉感を感じやすい。敢えて角台を中心に高設定投入を続け、常にユーザーが座っている状態を作り出すのも一つ。コース内の通路幅によるが、広ければ広いほど奥まで視線が届くため出玉が出ている時間帯はユーザーに与える印象も良いが、稼働が低い時間帯や出玉が出ていない時には逆効果。コース内の通路幅に合わせて、出玉アピールや装飾の配置・見せ方などに工夫が必要である。一番効果的な演出は、満席率の高い状態。全てのコースを満席にする事はほぼ不可能な近年、特定のコースに一定の集客を促す仕掛けが効果的であり、出玉感も出しやすい。但し、特定コースのみ集客が出来ていても他コースとの格差が出すぎるため、バラエティコーナーをうまく活用して、賑わい間を生み出していく。

R（アール）島 ※R = 曲線

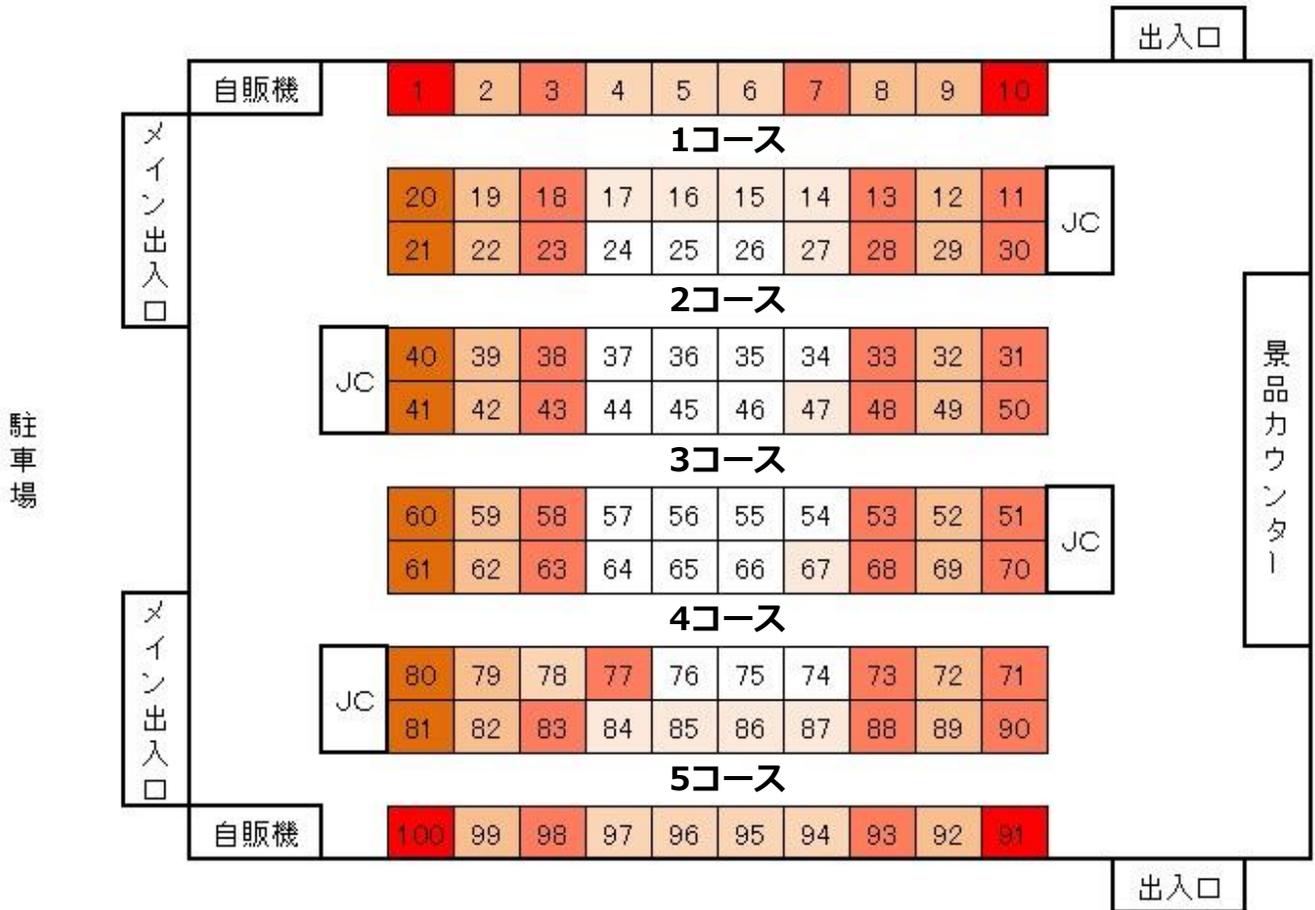
R島の場合は、コース内の途中までしか見通すことができず、特に入り口付近の台が目立つ傾向がある。そのためコース中間地点又は、入口から視界に入らない台への高設定投入は効果が薄くなる可能性がある。十分に島内の視界を確認した上で、設定調整にも活かしたい。曲線島の場合、直線島よりも満席時の賑わい感が出しやすい特徴を持つ。絶対と言って良いほど、角・角2の台では常時遊技している状況を作っておきたい。人気機種を目立つ場所へ配置し、島中については比較的低稼働機種を配置することで全体の賑わい感を演出できる。



○配置による稼働差

☆同じ機種でも配置によって稼働に差が出てくる！

・配置でどのくらい稼働差が出てくるのか？



基本的にはカド台・壁島など、端の台、列が稼働しやすい傾向がある。図で見ると1コースや5コースが比較的稼働しやすいコースに当たる。

色が濃い順に稼働しやすい、稼働率が高い台であり、特にAタイプのような機種でこの傾向は顕著である。逆にAT・ART機については、台の配置と言うよりデータ重視の立ち回りが多く、配置による稼働差はAタイプよりも少ない。その為、人気のあるAT・ART機を2コース、3コース、4コースなどの店舗の中心に据える事で、全体的な賑わい感を演出しやすくなる。更にメイン出入口側に人気機種を配置する事で、来店時の賑わい感・出玉感が演出しやすい。機種配置一つで、良い機種でも稼働を低下させてしまう場合もあるので注意が必要。

○機種配置・動線のポイント

☆店内を自然と回遊するような動線を心掛ける！

機種の配置を考えるときに、お客様の動線をしっかりと確認し、目的となる台に座る間にも他の機種を確認できるよう意図的に配置をする。お客様が目的の台で良い結果に恵まれなかった、又は座れなかった時の受け皿となる機種を頭にイメージしておいてもらう事も稼働を維持・アップさせるためには重要な要素となる。

☆ノーマルタイプは移動しない場所へ配置！

ジャグラーを中心としたノーマルタイプ、特に中高年層が好んで打ち込む機種については、設置するときから移動はしない前提で配置する。常に同じ台ばかりを打つような中高年層には、配置一つで稼働に影響が出てくる場合があるため、よほどの事情が無い限り移動はせずに営業ができるように配慮する。

☆直線よりもボックスでの配置を！

複数台の設置がある場合、一直線に並べてしまうよりも、なるべくボックスでの配置をする。一直線の配置よりも賑わい感が出しやすく、出玉や高設定を偏らせる場合も出玉のボリューム感が出やすくなり、良い印象を与えやすい。

☆バラエティコーナーでは人気機種を並べない！

バラエティコーナーでは、高稼働機種や人気機種、新台を並べてしまうと両サイドの稼働が低下しやすく、悪い影響が出てしまう。高稼働させたい機種の場合は、なるべく1台おきに配置をして、両サイドには比較的稼働機を低稼働機種を設置し、稼働に影響が出ないように配慮する。

☆配置・設定を考える場合、上から・横からの目線と角台を意識する！

配置を考えるときには、上から見た島やコーナーは気にしやすいが、横から見た時の配置には気を使えない場合が多い。島の中に立ってみて、横からのユーザー目線でも配置を考える参考にすること。合わせて設定調整までもイメージして、角台・角2などの見え方も考慮する。